

| | 児童の実態 | 指導上の課題 | 具体的な授業改善策 | 補充的・発展的な学習指導計画 |
|----|--|--|---|---|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせをすると集中して聞く。 ・ひらがなは全員読める。まだ数人は一文字一文字拾い読みになる。 ・ほとんどの児童は、板書のひらがなを正しく書き写すことができる。何人かは書く活動に時間を必要とする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを伝えられたという自信、意欲を高めさせる。 ・文字の定着、読解において個人差がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入、教材・教具・ICTの工夫を重ね、意欲的に取り組めるようにする。 ・音読や詩の暗唱に取り組む。 ・相手を意識した文を書けるように指導する。 ・話し手や聞き手としての体験を積み重ね、技能を系統的に学ばせる。また、型・声の大きさなどのスキルを指導する。 ・おはなしポケットに参加したり、教師の読み聞かせをしたりすることによって、読書に対する興味、関心を図る。 ・調べ学習では、学校図書館を活用し、簡単な情報を集め、まとめる活動を取り入れる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・二人組、班などいろいろな形態で受け答えのしかたを学んでいく。 ・作文・絵日記に楽しかったことや知らせたいことを楽しみながら書く活動を継続していく。 |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none"> ・計算に興味のある児童が多く、意欲的に取り組んでいる。 ・文章題になると、根気強く取り組むことのできない児童がいる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・理解、習熟の段階で個人差が大きい。 ・文意を正しく読み、解決する基本的な力をつけさせる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・視覚に訴える教具、掲示物の工夫を重ねる。 ・問題文の中から立式にキーワードを見つけたり、掲示したりして、定着を図る。 ・問題作りに取り組み足し算、引き算について、キーワードになる言葉をつかませる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習で計算の練習を繰り返すことを推進する。 ・いろいろな問題にチャレンジさせる。 |
| 生活 | <ul style="list-style-type: none"> ・植物や昆虫などの観察に興味を示して取り組む。花に思いをこめて世話をする。 ・他学年との交流活動を楽しんでいる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校探検を意欲的に行うが表現の工夫が今一步である。 | <ul style="list-style-type: none"> ・観察カードを掲示し、気づきや思いが良くかけている児童の文を紹介したり、表現の工夫を学ばせる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・2・6年などとの交流の機会を計画し学校生活や遊びの場の活動に広がりがもてるようにする |
| 音楽 | <ul style="list-style-type: none"> ・元気よく歌うことができる。 ・鍵盤ハ・モニカなど、楽器にも意欲的に取り組んでいる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・鍵盤ハ・モニカ指遣い、タンギングなどに個人差がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・リズムに合わせて、体を動かしながら、音楽に親しめるようにする。 ・指番号に合わせて、指遣いを学ばせる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・打楽器を使って、場面の様子や雰囲気にあった音を作り表現する活動を継続する。 |
| 図工 | <ul style="list-style-type: none"> ・楽しみながら表現活動ができる。 ・いろいろな材料を用いて創作活動を意欲的にしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・用具の使い方や発想力など技術上の個人差が大きい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・一つひとつの用具の使い方をていねいに指導し、安全で正しい使い方を理解する。 ・制作に飽きてしまわないように段階をおった過程を設定する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな素材に親しませていく。 |
| 体育 | <ul style="list-style-type: none"> ・身体活動を好む児童が多い。 ・ルールを理解するのが早く、みんなで楽しみながらゲームを楽しむことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・鉄棒・うんていなど技能上の個人差が大きい。 ・技能向上のための練習方法をわかりやすく伝える必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・楽しみながら、技能向上ができるカードを工夫し活用する。 ・集団活動のル・ルで繰り返し習熟させる。 ・できるようになったことを確認し合い、意欲へつなげる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・休み時間、生活科などの時間も使って、体を動かす楽しさを味わわせる。 |
| 道徳 | <ul style="list-style-type: none"> ・身近な話題、人物を取り上げると、多くの児童が意欲的に取り組む。 | <ul style="list-style-type: none"> ・経験の少なさから、深く読み取ることはむずかしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・読書活動の読み聞かせから、心情を想像させて、絵や文で表現させる。 ・視覚教材やロールプレイなどを取り入れる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・日々の生活の中に生かすようにする。 |
| 特活 | <ul style="list-style-type: none"> ・係活動、そうじなど積極的に取り組む児童が多い。 ・学校行事などに意欲的に参加している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し同じ指導が必要。 ・初めての行事活動が十分理解できるように分かりやすく、スモールステップで取り組む。 | <ul style="list-style-type: none"> ・係活動などについての振り返りの時間を設け自主性をそだてる。 ・話し合いのきまりを理解させ経験を積んでいく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・3か月に1回くらいは、自分たちが計画した学級内行事を実施する。 |